

社会福祉法人ゆめグループ福祉会 2020年度事業報告

1. 社会福祉法人ゆめグループ福祉会の基本理念

- 1) 障がいのある人々の権利を守り、その選択と自己決定を尊重します。
- 2) 障がいのある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられる支援を行います。障がいの有無を問わず、ともに交流し、ともに働き、ともにくらす場をつくります。
- 3) 障がいのある人たち・その家族・地域住民のねがいにもとづき、地域に根ざした、開かれた施設をつくり、地域の福祉の向上をめざします。

以上の理念に基づき、各種の事業に取り組んできました。

2. 事業運営

以下の第2種社会福祉事業の運営を実施した。
施設の事業報告と事業実績は別紙。

- 1) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)の運営：
ゆめ工房、ゆめ工房北砂、ふれあい工房、ドリーム第2、ドリーム第2分室リサイクル工房サラエ、ドリーム第2分室ドリーム第3、ドリームクラブハウス
- 2) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(多機能型：就労継続支援B型、生活介護)の運営：
ネットワークゆめ工房
- 3) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(共同生活介助)運営：
ひだまり第3・ひだまり第4、いぶき寮、丸山ハイツ・東砂ハウス
- 4) 第2種社会福祉事業 障害福祉サービス事業(重度訪問介護、居宅介護、同行援護)、移動支援事業運営：地域交流支援センター
- 5) 第2種社会福祉事業 特定相談支援事業：
ゆめ相談支援事業所の運営

以下の公益事業の運営を実施しました。

- 1) 公益事業：
「江東区心身障害者生活寮」 ひだまり、ひだまり第2の運営

3. 2020年度の取り組み

- 1) ドリーム第2の分室ドリーム第3を増設した。当初リサイクル工房サラエの再編を検討していたが、リサイクル工房サラエの事業が軌道に乗って自立して運営できることになったので、新たに分室を増設することにした。江東区北砂4丁目の砂町銀座内に、最適な条件の賃貸物件を見つけ、カフェ兼飲食店の店舗型の事業所を、既存建物を改修して、増設した。補助金等の確保ができず、自己資金での分室建設となった。2019年度、2020年度の2年間にわたる取り組みとなった。2021年9月14日に分室設置の届け出をした。新型コロナの影響で、カフェ兼食堂としての開所は未定であるが、開所に向けての訓練・準備をしながら、弁当等の事業を実施している。
- 2) 就労継続支援B型、就労移行支援事業を含む多機能型の事業所の移築再編・改修・新設を伴う事業所の建設については、重度の身体障害のある人たちを含むグループホームを含む計画を策定しているが、候補になっている対象予定敷地・物件の取壊し方針が大家さんから出されたので、計画は凍結状態となっていて、現在も凍結状態が続いている。物件の条件が再確定した段階で、新たに計画を検討することとしている。
- 3) 新型コロナの影響で、2020年度は、入所式、全体会、メーデーの参加、プール、宿泊研修、ゆめまつり、望年会、新年会等のほとんどの行事が中止となった。その中でもゆめグループの全体のつながりを維持するために、入所式は各事業所単位で実施し、全体会、望年会はwebを利用して実施した。
- 4) 新型コロナ感染症対策として、検温、消毒器の設置、加湿清浄機の設置、アクリルパーティションの設置の対策を各事業所の実情に応じてとった。PCR検査を積極的に、江東区において先駆けて、ゆめグループ職員全体に実施した。
- 5) 施設・設備の改善
車いすトイレの改修、
車いすトイレの改修等既存建築物の環境整備を図った。
- 6) 職員参加による研修の実施

定例研修会の実施は新型コロナの影響で、積極的に計画できなかった。
外部研修もあまり計画できなかった。10回10人にとどまった。

7) 地域連携の取り組み

ゆめ祭りは台風のため直前に中止となった。
赤い羽根共同募金の取り組みを実施した。

8) 法人組織体制

施設長会義、職員会議を web 方式で開催した。
主任会議、グループホームの定例会議は実施されなかった。

9) 第三者評価をゆめ工房、ゆめ工房北砂、ひだまり第3、いぶき寮で実施した。

10) 行事の取り組み

- 4月 入所式 各事業所単位で実施、ゆめグループ全体会は中止
- 5月 メーカー参加中止
- 6月 ゆめグループ宿泊訓練中止
- 7月 プール（江東、墨東特別支援学校）中止
- 8月 ゆめグループ宿泊訓練(岩手県：七時雨のつどい)中止
- 10月 ゆめまつり 中止
- 10月 きょうされん全国大会
江東区民まつり、墨東特別支援学校あきまつり中止、
- 12月 ゆめグループ望年会 web 方式で実施、江東区障害者福祉大会中止
- 1月 成人・還暦祝い、餅つき中止
- 2月 江東区障害者作品展

4. 理事会・評議員会の開催

1. 理事会

1) 第1回理事会 令和2年5月31日（月）

業務執行報告、2019年度事業報告、2019年度決算報告、定時評議員会の招集事項の決定

2) 第2回理事会 令和3年3月25日（木）

業務執行報告、2020年度補正予算、評議員選任・解任委員の選任、職

員就業規則の改正

- 3) 第3回理事会 令和3年3月31日(水)
2021年度事業計画、2021年度予算、定時評議員会の招集事項の決定

2. 評議員会
 - 1) 第1回評議員会 令和2年5月31日(日) 決議の省略
2020年度事業計画、2020年度予算、役員報酬規程の改定、新役員(監事)の選任
 - 2) 第2回評議員会 令和3年6月29日(月) 決議の省略
2019年度事業報告、2019年度決算、新役員(監事)の選任

事業所名	ゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-14-4 1階
管理者	岡田 芳久
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。</p>
事業の内容	<p>●新型コロナウイルスという未曾有の災害に振り回された一年であった。様々な対策を行い事業所内で感染者が出なかったことは幸いであった。</p> <p>●ただし同じフロアや建物内で濃厚接触者などがでて臨時の休業もあった。1月に合計4日休業した。</p> <p>●「はなすこと」を活動の基礎に置く、適切な声量・主語をはっきり・聞くと話すことのキャッチボールが成り立つようにする</p> <p>●受け身ではないやりたい気持ちを育てる支援</p> <p>●やれることはやろうという気持ちを作る支援</p> <p>→上記目標はすこしずつ利用者や職員の実践の中で実現してきている。</p> <p>作業(労働)</p> <p>② 全体として新型感染症の影響を大きく受けた。</p> <p>② 感染防止対策 手洗い、マスク着用、衛生用品確保、三密を避ける対策等実施</p> <p>③ 受注作業は継続できたので工賃は支払うことができた。</p> <p>→ダイレクトメール発送作業(タックシール貼り、封入など)</p> <p>④ パソコン(名刺作成など)の人材育成 法人内名刺作成のみに限定して再構築</p> <p>⑤ 下請け作業(部品はめ込み、のり袋詰め)</p> <p>⑥ 準備から後片付けまで作業をひとりでこなせる人を育成する</p> <p>⑦ コピー用紙袋詰め</p> <p>⑧ 外回りの活動ができないため口腔衛生商品販売の拡大(児童分野)などできなかった。</p> <p>⑨ 自主製品の作成(コーヒーがら消臭剤)新規製品試作(利用者だけで製造できるもの)コーヒー殻入手自体を自粛した。受注作業が繁忙、着手できなかった。</p> <p>⑩ むしばんの移動販売再開定期化、新製品開発(季節特別メニュー)→コロナの影響でできなかった。</p>

	<p>日課</p> <p>① バランスのとれた昼食への切り替え →新弁当業者 選べるおたのしみメニュー 前日までに自主的に注文用紙に記入する</p> <p>② 障がいに応じた一口食など形態の工夫 実施したが、実際の大きさなど手探り状態である。</p> <p>③ 歩く活動を意識的に取り入れる→コロナによりできず</p> <p>④ 昼休み後のストレッチ、ラジオ体操をしっかりとやる</p> <p>文化的活動</p> <p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作、ギャラリー展示会→中止</p> <p>② 作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展)→中止</p> <p>③ 東京都障害者スポーツ大会への参加支援→中止</p> <p>④ 学習会(手話など)→中止</p> <p>⑤ 軽音楽、陶芸教室など課外活動→中断</p> <p>自治活動</p> <p>① リーダー会議 開催できず。</p> <p>② メンバー自治会の組織、定例会議 リモートで実施</p> <p>③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画、利用者要望により外出行事を入れる →中止</p> <p>④ 各種行事実行委員会、メンバー年1回は実行委員会に→中止</p> <p>⑤ 帰りの会のひとこと 時間に応じて実施</p> <p>その他</p> <p>② 宿泊訓練(1泊2日)または自然体験訓練(岩手県) →中止</p> <p>② 希望者には送迎を実施する 感染症対策のため作業所が乗り合いになることをやめた。長時間化。</p> <p>③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する)→新規業者、おたのしみメニュー、前日注文で見通し</p> <p>③ 利用者アンケートの実施、第三者評価受審 →感染症対策のなか何とか実施</p> <p>⑤ 高齢化への対応、各介護保険事業者との連携 高齢医者 GHからの通所が禁止される事態に。</p> <p>⑥ 障害についての学習会実施 未実施 相互理解は来年度以降の大きな課題</p>
健康管理	<p>① 感染症対策、レイアウト変更 手洗い水栓自動化 衝立の作成 昼食時に密を避ける</p> <p>② 換気 マスク着用 アルコール消毒 ゴム手袋の使用</p> <p>③ 年1回の健康診断を実施する(区委託業者で実施)</p> <p>④ 手洗い、うがいなどの励行</p> <p>⑤ 誤嚥防止の支援 利用者時間外耳鼻科受診が1回あり</p> <p>⑦ 体重、血圧定期測定の実施 車いす女性利用者体重測定</p> <p>⑧ 都派遣の歯科専門家の研修講師の招聘 未実施</p>
年間計画	ほとんどの全体行事は新型コロナ感染予防のため中止

<p>その他</p>	<p>利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価 評価表が理解されていなかった。 ② 利用者・職員に対するアンケートの実施 ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開 訓練費の話→利用者 決算予算→職員 ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施 ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑥ 新規利用者獲得 ⑦ 利用者、職員の雑談力をつける ⑧ 個別支援計画の面談を各支援員で分担し、作成することを試行する。 ⑨ 一週間の見通しを持てるように支援する（週間予定表など） <p>職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、職員、サービス管理者、利用者との話し合いを定期的に行う。 ② サービス等利用計画の立案への協力、対象者を増やす ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施する。（自閉症スペクトラム、高次脳機能障害の社会行動障害） ④ 職員との個別面談 ⑤ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるよう配慮する→終業後の室内消毒を3月まで実施、大きな負担となった ⑥ サービス提供記録4月より実施 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境整備を進める。整理整頓。作業資材の収納を確保、作業台の距離をとる ② 温度、湿度などの適正管理、障害に合わせた体温調整の工夫 換気実施と面積が広いため不完全 ③ パーティションの活用による集中できる環境づくり。
<p>管理運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢化重度化を踏まえ今後について検討を行う ② 工賃による訓練費格差については各所に不合理を訴えていく。ようやく月額平均工賃が5000円超えたが、次年度は見直しのため再び最低ランクに ③ 高齢障害者中心の事業所か、多様な年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークづくりに向けて方向を考える ④ 職員の仕事マニュアルづくり ⑤ 作業所の中期計画案づくり 不完全 ⑥ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア 1名実施 リモートの活用 ⑦ 定員を2021年4月より20名に 若い利用者を4年間程度訓練し、就職へつなげる場へ ⑧ サービス提供記録整備、電子記録の活用検討 ⑨ 虐待防止研修など全員で受講 ●コロナでバラバラになった地域との絆をどう取り戻すのかが今後の課題 ●引き続き感染予防に力を入れる ●事業継続のための計画などを整備必要

2020年度事業報告

ドリームクラブハウス

事業所名	ドリームクラブハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-15-8
管理者	藤森 幹朗
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援を行う。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。生活のリズムを大切にしながら、病気と付き合い地域生活を送ることができよう支援する。</p>
事業の内容	<p>作業(労働)</p> <p>① 軽作業 ネジの箱詰、発送、マグネット</p> <p>② 自主製品の作成 コースター、革製品</p> <p>③ 区、地域、社会福祉協議会で行われるイベントでの販売活動を積極的に進める。</p> <p>日課</p> <p>① 1時間ごとに休憩時間を入れる</p> <p>文化的活動</p> <p>① 創作活動(月1回) 美術作品の制作 かかしコンクール、ギャラリー展示 展覧会見学</p> <p>② 作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展)</p> <p>自治活動</p> <p>① リーダー会議</p> <p>② メンバー自治会の準備会 リーダー選挙、朝の会</p> <p>③ 各種行事实行委員会</p> <p>④ 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化</p> <p>その他</p>

健康管理	年1回の健康診断を実施 11月
年間行事	<p>4月 東京福祉大学実習生 精神保健福祉士実習 途中中止 緊急事態宣言発令に伴い、時短営業開始 9:30-15:30 年度末まで継続</p> <p>5月 千葉のギャラリーでコースターの展示販売</p> <p>6月 東京福祉大学実習生 精神保健福祉士実習再開</p> <p>7月 江東特別支援学校3年生実習 7/13-28日まで</p> <p>8月 鹿本学園職員課題実習 8/17、20、21 8/24~9/18 首都医校 精神保健福祉士実習</p> <p>9月 職員 PCR 検査実施 かかしコンクール 2体特別賞を受賞 深川消防署長賞、レインボウタウンFM賞</p> <p>10月 順天堂大学看護学部実習生2名 地域実習 後期より再開 2日間 江東特別支援学校実習生(3年生)実習 10/12-10/30 健康診断(総合区民センター)</p> <p>11月 順天堂大学看護学部実習生2名 男性利用者1名退所調布市内のグループホーム</p> <p>12月 順天堂大学看護学部実習生2名 1月 新年顔合わせ 2月 職員利用者 PCR 検査実施 江東区障害者作品展 今年度は Web 公開 共同作品1点 個人作品1点 首都医校精神保健福祉士実習 2週間</p> <p>3月 インターネット販売 公開 PIPPO 避難訓練 利用者期末賞与支払い</p>

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員の指導力を高めるための研修を実施した。 ② 欠席者への電話連絡、長期欠席者への訪問を行った。 長期入院中の利用者への地域移行支援に協力 ③ 個別支援計画のための面談 ④ 行政手続きの支援 ⑤ 地域での社会参加、(自治会役員、カルチャー教室入会など) の支援。 ⑥ 利用者の工賃 期末賞与の算定を変更した。販売参加などを加算
<p>課題</p>	<p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 精神疾患以外の疾病の管理と健康維持。 ② 利用者の高齢化にともなう、設備、環境の改善。 ③ 単身の高齢利用者の日中活動時間以外（夜間、土日休日等）の緊急時の対応をどうするか。 ④ 関係機関とのネットワーク再構築と強化。 ⑤ 長期欠席者に対する支援、ニーズ調査。 ⑥ 単身で生活している利用者の支援（健康管理、食生活など）を関係機関と協力しながら重視する。 <p>作業仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 誰もが革製品づくりに参加出来るようにする。 ⑧ 自主製品販売場所および販路の拡大。特に常設できる販売場所の開拓。 ⑨ 工賃支給基準の見直し（継続） ⑩ 請負作業（ゆめグループ倉庫整理管理業務） 全体行事前後の片づけ、備品管理などを利用者主体で担っていく。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑪ 利用者減少、利用率の低下に伴い 利用者募集を関係機関等に周知させる。 ⑫ 高齢の家族の問題を支えている利用者の急増と その包括的支援

令和2（2020）年度事業報告

ゆめ工房北砂

事業所名	ゆめ工房北砂	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型	
所在地	東京都江東区北砂一丁目14番4 2F	
管理者	安部 慎太郎	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 	
2020年度目標	<p style="text-align: center;">「楽しい北砂をつくろう」</p> <p>日中活動において、相手を思いやる気持ち・行動を心がけ、必要に応じて様々なルール・役割を作りました。</p>	
事業内容	作業（労働）	<p>○収入目標 3,500,000円（2019年度 3,384,023円） ⇒結果 2,769,051円（目標に対して-730,949円）</p> <p>○平均工賃1人1ヶ月 6,763円 （2019年度 6,696円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 収入目標 1,700,000円 ⇒結果 2,105,930円 紙マスクケース等の組み立て、印刷物の封入作業、ダイレクトメール発送作業。 ・菓子製造業 収入 1,700,000円⇒557,134円 手焼きせんべい、石焼き芋、芋けんぴ、揚げせんべいの販売。コロナウイルス感染予防のため、砂町銀座・西大島の売り歩き・社協「まごころ市」、専門学校・企業等での販売なし。るーくる・木場公園ミドリアムへの出品、注文販売に留まった。 ・自主製品 収入 100,000円⇒105,987円 エコラフト（小物入れ、カトラリーケース）を東京都 KURUMIRU へ出品

		<p>※コロナウイルス感染予防を第1に考え、不安があったら休んでもらうことや時差出勤を取り入れた。年度初めから菓子製造販売の収入減が見込まれ、下請け作業を中心に仕事をした。春頃は納期が緩やかでなく、難易度の高い仕事も請け業者との繋がりを保ち工賃を出した。コロナ感染予防のためのお休みには1日100円の工賃を支給した。</p>
	<p>日課</p>	<p>① 検温、マスク交換、出勤簿に判を押す・出席をとる ② お弁当の注文確認 ③ 体操・ストレッチ・スクワット ④ 掃除 ⑤ 朝の会（今日やることの確認・共有、連絡事項） ⑥ 昼休み（昼食・歯磨き） ⑦ 午後の確認（午前やったことの確認、午後やることの確認） ⑧ 帰りの会（今日やったことの確認・共有、連絡事項） ⑨ 三役会議（リーダー・サブリーダー・会計で出勤簿の確認、作業出勤簿の確認、業務日誌をつける、明日の予定について）</p> <p>※適時アルコール消毒(消毒スプレー1人1つ支給)</p>
	<p>文化的活動</p>	<p>① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 ⇒コロナウイルス感染予防のため、中止にした月もあった。 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、かかしコンクール、障害者作品展） ③ スポーツ系のレクリエーション ⇒菓子販売のユニホームを着て、アピールを兼ねたウォーキングをした。 ④ 東京都障害者スポーツ大会への参加（希望者） ⇒参加者なし ⑤ 手話教室（希望者）⇒コロナウイルス感染予防のためなし ⑥ 軽音サークル（希望者）⇒コロナウイルス感染予防のためなし</p>

	<p>自治活動</p>	<p>① リーダー会議⇒コロナウイルス感染予防のためなし</p> <p>② メンバー自治会の組織 ⇒「仲間の会」は定例会をズームで開催</p> <p>③ 「なんでもやろうかい」の立案・実施 ⇒コロナウイルス感染予防のためなし</p> <p>④ 各種行事实行委員会 ⇒コロナウイルス感染予防のため実行委員会をひらく行事なし</p>
	<p>その他</p>	<p>① 宿泊研修 6月群馬県水上温泉（1泊2日）か8月岩手県七時雨（2泊3日）を選択する⇒コロナウイルス感染予防のため中止</p> <p>② 避難訓練（2回）11/13（金）・3/16</p> <p>③ 希望者には送迎を実施した。</p> <p>④ 個人の身体・収入に合ったものを自分で選択することを旨とする。買い物支援・仕出し弁当を斡旋した。</p>
<p>健康管理</p>	<p>① 年1回の健康診断を実施した 利用者は西大島総合区民センター、職員は扇橋診療所</p> <p>② 手洗い・うがい・アルコール消毒の励行</p> <p>③ 必要に応じて通院同行や食事の補助など</p> <p>④ 昼食時、パーテーションの利用</p> <p>⑤ マスク着用（必要に応じてフェイスシールドも）</p> <p>⑥ 歯磨きはベランダで行う</p> <p>※1月コロナウイルス陽性者（職員）が出た。 （冬季休業中に感染。事業所内感染なし。）</p>	

年間計画	<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所式（各事業所で行った） ・ゆめグループ全体会（事業計画について） <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーデー（有志）⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・障害者スポーツ大会参加（有志） <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修 群馬県水上温泉 6/4（木）～6/5（金）（1泊2日）⇒コロナウイルス感染予防のため中止 <p>7月</p> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東特別支援学校夏まつり⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・宿泊研修 七時雨（2泊3日）⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・プール（江東・墨東特別支援学校借用）⇒コロナウイルス感染予防のため中止 <p>9月</p> <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうされん全国大会@和歌山（2泊3日）⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・江東区民まつり⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・ゆめまつり⇒コロナウイルス感染予防のため中止 <p>11月</p> <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東区障害者福祉大会⇒コロナウイルス感染予防のため中止 ・望年会⇒12/25（金）ズームで理事長年末の挨拶 <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人還暦祝い・餅つき⇒コロナウイルス感染予防のため中止 <p>2月</p> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江東区障害者作品展 オンラインで作品を展覧 ・ゆめグループ全体会（総括会議）⇒ズーム利用
その他	<ol style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを行った。 ② 職員の指導力を高めるための研修を実施する。また、外部の研修にも積極的に参加を促す。 ③ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ④ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ⑤ 相互の障害の理解のための語る会など実施 ⑥ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援を行う。

2020年度事業報告

ネットワークゆめ工房

事業所名	ネットワークゆめ工房
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類・定員 (契約者数2020/4/1)	生活介護10名、就労継続支援B型10名 生活介護12名、就労B9名(*2019年度末 生活10名、就労9名)
所在地	江東区北砂1-17-4-1階
管理者	柳 春夫
事業の目的	<p>障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。特に障がいの重い利用者に視点をあて生活介護事業を重視する。障がいの重い利用者の介助について研修し「安全安心」を重視する。労働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるよう努力する。</p> <p>他の支援機関と協力し一般就労実現のため支援する。文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を充分発揮できるよう支援する。</p> <p>生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康を維持・増進するための取り組みをすすめる。</p>
事業内容	<p>作業(労働) ①軽作業(下請け作業) (売り上げ) 紐通し・結び ゆめニュース発送 売上 85,897円(2019年度 188,8706円)</p> <p>②自主製品の製造販売 陶芸 ポストカード(年賀状を含む) ワニプル(プルトップを使ったストラップ) プラバン・キーホルダーの製作(新規) 売上 691,151円(2019年度 505,309円)</p> <p>③アルミ缶リサイクル 売上 104,426円(2019年度 208,407円) 回収量 1546,1kg(2019年度 2414.8kg)</p> <p>売上総額 881,474円 (2019年度 902,586円)</p>
売り上げ	<p>・下請作業 昨年度より100,000円ほど減収。</p> <p>・自主製品 陶芸14,000円程度減、ポストカードも10,000円程度減、ワニプルも40,000円程度減、新規のキーホルダー製作が88,000円、年賀状が160,000円の増収でトータルではプラスとなった。</p> <p>・アルミ缶リサイクル 昨年度より半減。回収量も減であり、買取単価も13円/kg下がっている。</p>

工賃

生活介護が多いのは就労Bより出席率が良いことが原因している。昨年同様、年度末にボーナスを支給した。

きょうされんコンクールで入賞した作品がグッズ販売以外にもポスターになったりしている。

出席状況

生活介護	82.6%
	(77.9)
就労B	53.3%
	(52.8)
全体	71.6%
	(66.0)

*長期欠席者2名
(入院1、在宅療養1) 2名とも就労B
在籍者

健康管理

(支払い工賃) 生活介護 2,682円/月 (2019年度 2,837円)
就労B型 2,264円/月 (2019年度 2,769円)
全体 2,523円/月 (2019年度 2,808円)

工賃総額 534,170円 (2019年度 626,200円)

販売原価支出 843,402円 (2019年度 904,131円)

文化活動 ①創作活動

絵画(多様な画材)、パソコンによる作画、陶芸
*創作教室(月一回。専門講師が指導)

②作品展への参加

きょうされんコンクール、江東区障害者作品展

③クラブ活動

軽音楽クラブ、陶芸教室

(新型コロナウイルスの影響で実施できず)

自治活動 ①メンバー自治会への参加

②「何でもやろう会」の企画・実施

その他 ①宿泊研修・訓練(2泊3日)中止

②希望者への送迎の実施

③給食は実施しない。(仕出し弁当を斡旋する)

年一回の健康診断を実施。(保健所)

嘱託医による健康相談と指導の実施。

非常勤看護師の勤務時間を必要に応じて増やす。

畳エリアを利用した休養時間を設ける。

新型コロナウイルス対策の徹底をしていたが、陽性者発生のため改めて、対策を見直し感染拡大防止に努めていく。

(通所時に各所の消毒・検温を行っている。)

<p>年間行事活動</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で各種行事の中止を余儀なくされてしまった。</p>	<p>4月 入所式（各事業所毎で実施） ゆめグループ全体会（年間計画）中止</p> <p>5月 障害者メーデー（有志参加）中止</p> <p>6月 宿泊研修（中止）</p> <p>7月 地域との夏まつり（江東特別支援学校）（中止）</p> <p>8月 なんでもやろう会 （事業所内で調理実習とレクリエーション） 学校開放プール（江東、墨東特別支援学校）中止 宿泊研修（岩手2泊）中止</p> <p>9月 第23回かかしコンクール参加 きょうされん全国大会（代表）中止 地域との夏まつり（墨東特別支援学校）中止</p> <p>10月 入所式 （新型コロナウイルスの影響で居宅支援を行っていた方） 区民まつり（中止）</p> <p>12月 第12回きょうされんグッズデザインコンクール参加 区福祉大会（有志）中止 なんでもやろう会（クリスマス会）</p> <p>1月 健康診断①② 成人・還暦の会（中止）</p> <p>2月 PCR検査実施</p> <p>3月 全体会（年度末）感染対策のため、リモートで行った。</p>
<p>その他</p>	<p>①個別支援計画の作成はほぼ全員年2回作ることができた。 モニタリングの実施時期と記録は難しく工夫が必要と思う。</p> <p>②職員の研修は新型コロナウイルスの影響でリモート研修となり 法人代表者が研修に参加し、内容を各事業所へ拡散させて 考察検討と理解を行った。</p> <p>③施設の改修等では台所レンジ改修を行った。</p> <p>④職員の介助の負担を軽減するためマッスルスーツ等の 介助機器を導入した。</p> <p>⑤2020年度途中で3名が退所した。（3名共に就労B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所施設に入られた方（12月） ・入院されていた方が介護サービスへ移行（1月） ・1月に亡くなられた方



令和2年度事業報告

ふれあい工房

事業所名	ふれあい工房	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型 定員20名 現員23名 身体：5名 知的：9名 精神：8名 手帳なし：1名 男性8名 女性15名 平均年齢39.2歳	
所在地	東京都江東区千石2-2-5	
管理者	中村 幸江	
職員体制	主任：裏方班担当 緑川 亮介 喫茶班担当 高橋 幸子 店舗班担当 金井 圭市 (5月まで関家 悠史) ベーカリー 姜 恩慶 ベーカリー (パート) 中村 英理子⇒11月～金 英蘭 ベーカリー (パート) 石川 千里 送迎担当 宇田川 繁	
事業の目的	店舗を通して、生産者と地域のお客様との仲立ちを、障害のある人たちがすることで、生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるように支援を行う。 文化活動・創作活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。	
事業内容	作業 (労働)	① 産直野菜の仕入れ (岩手県)・販売 ② 天然酵母パンの製造・販売 パン製造希望者でシフトを決めて担当した。 店舗の一部を開放して販売した。 ③ 焼き菓子等の製造・販売 新商品「ころころラスク」残った食パンを利用 コロナの影響でイートインを止めたので、テイクアウトでランチ・ドリンクを提供した ④ るーくるでの販売 レーズン食パン、キッシュ、季節の野菜ピザが好評だった。焼き菓子も良く売れ、月の売り上げが10万円を超える月が増えた。 ⑤ ゆめ事業所へのランチ・パン配達 ⑥ アリオ北砂「わくわく広場」へ弁当配達 (7月～10月) ※10月で閉店

	<p>⑦ 木場公園「ミドリアム」へ焼き菓子納品（11月～） ミドリアムでの購入した方から、幼稚園等への販売が広がった。</p> <p>⑧ 「注文販売」を開始 コロナで販売に行けなくなったため、商品一覧を広域へポスティングを頻繁に行った。 営業活動に力を入れ、事前に電話で日時を決めてからご挨拶にまわった。これまで販売に行っていた所に加え、新規の所も増えた。 「販売に来るよりも、買いたい物が確実に買えてうれしい」と評判が良かった。</p> <p>⑨ 「読売朝市」毎月第3日曜日への出店依頼があり、焼き菓子のみ販売していただいた。</p> <p>⑩ 体に優しい食品、雑貨等の販売</p> <p>⑪ 食品の下請け作業 インドから輸入したドライフルーツ「アムラ」の袋詰め（不定期）@20円</p>
日課	<p>① 毎朝、接客基本用語、身だしなみチェック</p> <p>② ラジオ体操</p> <p>③ 昼食後の歯磨きを徹底</p> <p>④ 毎日の清掃以外に、場所ごとで集中掃除を行った</p>
文化的活動	<p>① 創作活動（月1回）※緊急事態宣言中は休み かかしコンクールに参加 2体作成した（銅賞、リベンジ賞受賞） （1体はテレ朝マツコさんのテレビにも出た）</p>
自治活動	<p>① リーダー会議</p> <p>② 自治会（仲間の会）の活動</p>
その他	<p>① 希望者には送迎を実施する</p> <p>② 仕出し弁当・不定期で土曜日賄い食を提供</p>
健康管理	<p>11月 総合区民センターにて、健康診断を受けた。 毎月の検便検査（全員）</p>

<p>コロナの影響</p>	<p>店舗を閉めることが多く、開けても一部のみだった為、売上が大幅にダウンした。</p> <p>パーテーション等は早急に設置して、利用者の感染予防に努めた。緊急事態宣言中は、新商品に繋がることも考えて調理する機会が増えた。スクリーンを利用して、映画鑑賞、動画を観ながらストレッチを行った。</p> <p>室内で机を使った卓球大会や、イントロクイズ等で上位の人に商品が出るようにして楽しんだ。</p> <p>散歩に行く機会も増やし、ストレスが溜まらないよう配慮した。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との面談を行った。 ② 利用者の希望に沿って担当を決め、責任感、作業意欲が向上できるように支援した。 ③ 給料と評価基準を明確化し、利用者が理解できる形で進めた。 夏 5,000 円、冬 10,000 円年を支給した。 ④ 利用者・職員に対し、経営状態を公開した ⑤ 就職希望者の見学、面接、実習に同行した。



令和2年度事業報告

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 定員4名 : 男性3名 女性1名
所在地	江東区東砂8-19-7
管理者	中村 幸江
職員体制	世話人 遠藤 亜希子 賄い 景山 伊津子 (月水金) 賄い 香取 友美 (火木+世話人休みの日の配膳)
事業の目的	基本方針 障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。 運営方針 (1) 入居者の自主性を尊重し、個人の尊厳、プライバシーを守る。 (2) 入居者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう入居者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。 (3) 地域社会との交流を深め、関連する障害者団体との連携をはかる。
事業内容	(1) 寮費 90,000円 (内訳) 家賃 50,000円 食費 25,000円 光熱費 7,000円 消耗品 1,000円 行事費 2,000円 旅行積立 5,000円 (2) 健康管理の援助 ・入居者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。 ・必要がある場合は、医療機関への通院支援、服薬管理、塗り薬等の支援をした。 ・感染予防のため、手拭き用ペーパータオルを用意した。 風呂マット、手拭きタオルを個別に分けた。

- ・週1回、居室、共同スペースを全員で清掃した。
必要な方への洗濯、寝具等の大物洗濯を支援した。
- (2) 健康に配慮した食事の提供
 - ・入居者の身体の状態・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供した。(平日：朝食(賄い)、夕食(ドリーム第2の配食)
土日祝日：夕食(弁当)
GW、夏休み、年末年始の長期の休み中は夕食を提供した。
- (3) 入浴、排せつ又は食事等の介助
 - ・入居者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介助を行った。
- (4) 日中活動援助
 - ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、入居者の活動を支援した。
- (5) 余暇活動等の支援
 - ・休日や余暇時間には入居者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援した。
- (6) 相談・助言
 - ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応し、相談の場を設け助言する。
- (7) 金銭管理の援助
 - ・必要な方の金銭管理を行った。
- (8) 家族との交流
 - ・入居者と家族間の連絡調整を行った。
- (9) 行事
 - ・年間計画を立てたが、コロナの影響で、誕生会・食事会(寮内)、外(公園、河川敷)での食事等にとどまった。
 - ・休日、希望者には散歩等、外へ出かけるよう支援した。
- (10) 緊急時の対応
 - ・入居者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や通院同行をした。
- (11) 防災関連
 - ・避難袋・用具の点検・見直しを行った。
- (12) その他
 - ・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行った。
 - ・コロナの影響で、各自室内で食事を摂っていただくことが度々あった。(自室まで配膳、片付けを支援した)

2020事業報告

本館ドリーム第2 分室リサイクル工房サラエ 分室ドリーム第3

事業所名	本館 ドリーム第2 分室 リサイクル工房サラエ 分室 ドリーム第3(指定開始2020年9月14日)
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	本館 ドリーム第2 東京都江東区東砂6-20-7 1F 分室 リサイクル工房サラエ 東京都江東区東砂5-16-3-101 分室 ドリーム第3 東京都江東区北砂4-40-9 上地ビル1F
管理者	田中 直樹(サービス管理責任者 兼務)
副施設長	本館ドリーム第2：才野結子 分室リサイクル工房サラエ：仲前幸枝
主任	本館ドリーム第2：青山永俊
利用者	本館ドリーム第2(定員20名) 令和2年度利用開始者 男性 0名 女性2名 令和2年度利用終了者 男性 2名 女性1名 2021年3月31日現在 男性12名 女性8名 <u>計20名在籍</u> 分室リサイクル工房サラエ(定員10名) 令和2年度 利用開始者 男性0名 女性 1名 令和2年度度 利用終了者 男性1名 女性 1名 2021年3月31日現在 男性8名 女性 5名 <u>計13名在籍</u> 分室ドリーム第3(定員10名) 令和2年度 利用開始者 男性7名 女性7名 2021年3月31日現在 男性7名 女性7名 <u>計14名在籍</u> <u>本館、分室 計45名</u>
事業の目的	基本方針 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していかれるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き活きとした毎日が過ごせるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力して一般就労に向けて支援する。 支援方針 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 (1) 見通しや責任感を育てる役割、係の設定。 (2) 自助具の開発、改善により、生産数のアップ、技術向上、達成感の会得を図る。 (3) 生産目標、財政目標を立て定期的にわかりやすく作業をふりかえり、

	<p>今後の見通しをもつ。</p> <p>(4) 安定した作業と、少し難易度の高い工程への組み合わせで意欲を育てる。</p> <p>(5) 給料増額にむけて仕事開拓のための営業活動や自主製品開発を行う。</p> <p>2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。</p> <p>(1) リーダー会の一層の充実をはかる。</p> <p>(2) おたがいのがんばりや成長を気付き合い評価し合える場面を作っていく。</p> <p>3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き活きとした毎日が過ごせるようにする。</p> <p>(1) 作業の様子、作業以外での様子を職員が共有、力を発揮できる場면을意識的に作る。</p> <p>(2) 問題の直面化などを意識的に行い利用者の相互作用により解決していく場面を作る。</p> <p>4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。</p> <p>(1) 現在の健康状況を職員が把握し、家庭、PT、保健師、医療機関との連携を図り必要な援助を行っていく。</p> <p>(2) 家庭訪問、個人面談、日常の情報収集などで通所者や家庭の状況を把握し必要な援助を行っていく</p> <p>(3) モニタリングや、職員間の情報共有に力を入れる。</p> <p>5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。</p> <p>(1) 就労のための情報を利用者に周知する</p> <p>(2) トライアル雇用などの制度を積極的に利用する。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容

作業（労働）

【本館ドリーム第2】

① 喫茶班

利用者5名

喫茶収入	2019年度	1,329,342円
	2020年度	165,800円
	前年度比	-1,163,542円↓

コロナの影響を大きく受け、大幅な売り上げ減が見られました。店舗は1年間開けず、注文が入った弁当などを対応して売り上げを確保しました。今年度は法人なの弁当販売やる一くるなどに新しいお菓子などを納品し、売り上げ増を目指します。

② 厨房班

利用者11名

一くる収入	2019年度	4,840,238円
	2020年度	2,044,090円
	前年度比	-2,796,148円↓
地域夕食収入	2019年度	1,782,000円
	2020年度	1,694,850円
	前年度比	-87,150円↓

一くるはコロナの影響もあり、売り上げの大幅な減少が見られました。緊急事態宣言を受け、感染拡大防止の観点から納品をやめていた時期がありました。3月には新商品の「ホットサンド」を始め、毎日完売と好評です。

夕食は3月から法人内のGH以外に職員、作業所に通う利用者さんの家族にも夕食配達の範囲を広げました。夕食もコロナの影響で1か月休んだ時期もありましたが、新規のお客さんも増えたため、売り上げは少しの減少にとどまりました。

③ 裏方班

利用者4名

裏方収入	2019年度	221,020円
	2020年度	50,720円
	前年度比	-170,300円↓

本館の作業のサポートとして作業をする。自主製品として『ブラウニーケーキ』を販売。外販やイベントの出店もコロナの影響でなくなったため、大幅

な減少が見られます。今年度は新しく下請け作業の開始や新商品開発にも力を入れ売り上げの向上を目指します。

本館ドリーム第2 年間売上

2019年度 8,172,600円

2020年度 3,955,460円

-4,217,140円↓

【分室リサイクル工房サラエ】

① ショップ班

利用者3名

収入	令和元年度	733,105円
	<u>令和2年度</u>	<u>0円</u>
	前年度比	-733,105円↓

コロナのため、令和2年度はショップの開店をすることが出来なかった。

店外での営業や移動リサイクルショップ等、売り上げ確保の方法を模索し、話し合いを行うなどの時間を作ったが、実現することはできなかった。

電話でのリサイクル品に関する問い合わせや

(1カ月5件程度)、定期的にショップに来訪し、開店の状況を尋ねてくれるお客さま(1カ月に6~7人程度)が想像以上にしてくれたこともあり、利用者自身も開店に対する意欲を持ち続けることが出来たように感じる。

次年度は夏休み明け(8月)の開店を目指し、店内整理と見やすい店内作りを行っている。これまでの顧客を逃さないためにできる努力を続けていく。

② 印刷業

収入	令和元年度	5,416,808円
	<u>令和2年度</u>	<u>4,174,415円</u>
	前年度比	-1,242,393円↓

新規顧客開拓が上手く進まず、新規受注は1件だけだった。江東区内の民間団体の機関紙、配達、障害者団体の印刷物作成や封入、印刷物の丁合、

発送業務、江戸川区や葛飾区、足立区などの小中学校卒業文集や研究論文、教材冊子などの作成を行った。

コロナの影響を受け、学会やシンポジウム等が中止になってしまったことで、印刷物の受注も少なかった。

カラー印刷機での新規顧客を取り込むことに力を入れていきたい。

③ 裏方班(自主製品、請負作業)

利用者10名

収入	令和元年度	438,263円
	令和2年度	<u>351,762円</u>
	前年度比	-86,501円↓

4月より、17年ぶりの新卒利用者が入所した！
コロナの影響でバスソルト事業が大きく影響を受けた。これまで以上に受注、売り上げ共に大きく減少した。

電動自転車の請負作業は、ユーズド自転車の需要が高まり、作業の受注は少し増えた。納品スピードと納品数を上げることを意識し作業を進めることが出来るようになったことで、定期搬入の個数を増やすことも出来た。

作業を行っていく中で、優先順位や作業スピードに合わせてチームを編成し、それぞれのチームが協力しながら作業を進めることが出来るようになった。

自主製品は、るーくるでのウッドビーズネックレスの売り上げが伸びなかった。これまでの形や素材にこだわらず、仕様変更が必要。また、新商品開発の準備を始め、次年度に新商品を販売できるようにする。

分室リサイクル工房サラエ 年間売上

令和元年度 6,588,176円

令和2年度 4,526,177円

-2,061,999円↓

【分室ドリーム第3】

2020年9月14日にドリーム第2分室として東京都の指定を取り、定員10名の就労継続支援B型の事業所として開所。主な作業内容としては調理と接客。仲間、職員と決めたカフェの名前は『Café くれよん』。

カフェ店内

緑に囲まれた店内。

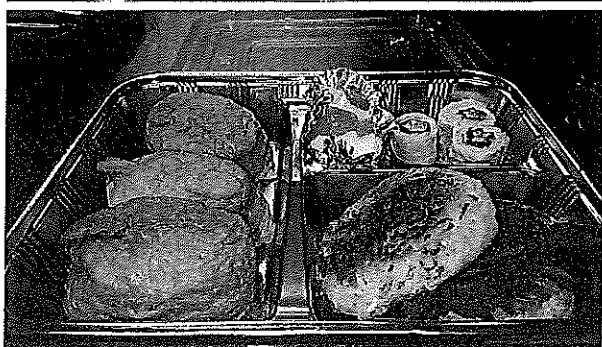
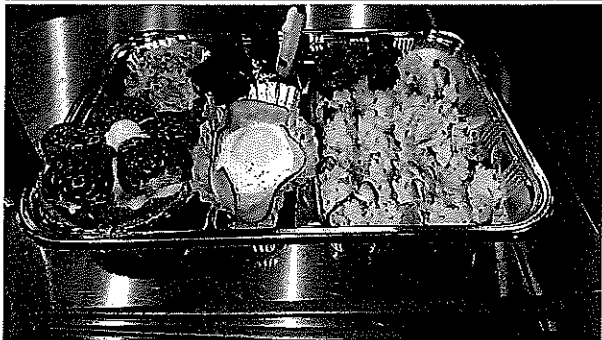


様々な障がいを持ち、様々な個性が集まり、様々な色を持つ仲間達が働く場所という意味で命名しました。2020年当初から始まった新型コロナウイルス感染拡大の為、開店できず……。しかし、メニュー開発や調理技術の向上を目的に昼食作りを実施。





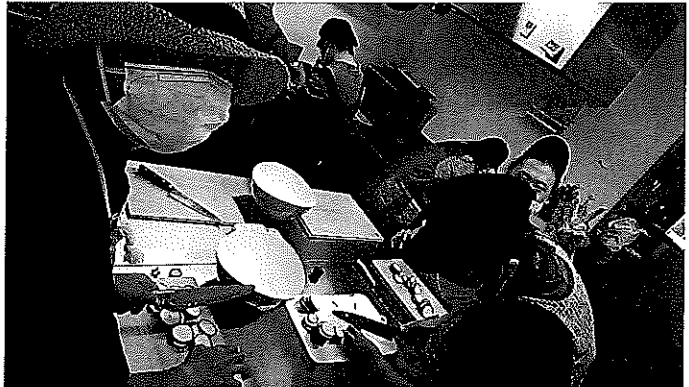
年度途中コロナ感染拡大が弱まった際にお弁当配達を実施。法人内の希望がお弁当の希望がある事業所に1食600円で毎週配達。



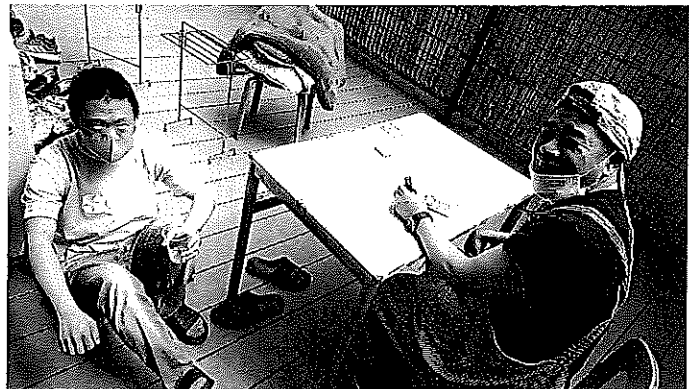
休憩スペース
寝転がったり、車
椅子の方でもゆっ
たりできるように、土足厳禁。



厨房での作業風景。



裏口にはウッドデ
ッキがあり、仲間達
の憩いの場に。



萩田理事長によるコーヒー
講習会。



ドリーム第3では、開所後今年度の開店は断念し料理の研究に日々を費やした年度になりました。就労支援の売上は0円。通所している仲間達の工賃は半日200円、1日400円でドリーム第2とリサイクル工房サラエの売上から支払いました。

【コロナ関連】

ドリーム第3職員家族から陽性者が出て、事業所判断で1月に3日間休所しました。その後、体調不良者出ず再開しました。

令和2年度収入計

令和元年度 14,760,776円

令和2年度 8,639,051円

前年度比 -6,121,725円↓

令和2年度工賃支出

令和元年度 6,692,161円

令和2年度 2,993,565円

前年度比 -3,698,596円↓

平均工賃

本館ドリーム第2	平均工賃	7,966円
分室リサイクル工房サラエ	平均工賃	6,500円
分室ドリーム第3	平均工賃	5,584円
ボーナス(年末)	年度末	5,000円~30,000円

令和元年度 平均工賃月額：15,734円

令和2年度 平均工賃月額：6,994円

-8,740円↓

	日課	<ul style="list-style-type: none"> ① 各班毎に朝の会 ② 朝のラジオ体操 ③ 昼食後の歯磨き（全員） ④ 仕事終わりに全体での帰りの会(仕事の振り返り)
	文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 かかし展に参加（9月 深川資料館通り展示） ② 作品展への出展 きょうされんグッズデザインコンクール 障害者作品展 東京都障害者スポーツ大会への参加 ③ 学習会 手話教室（毎月2回）希望者が参加
	自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事实行委員会 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練（1泊2日） ② 希望者には送迎を実施 ③ 給食は実施しない（仕出し弁当を斡旋する）
健康管理	<p>年1回の健康診断を実施する（保健相談所にて） 城東保健相談所にて実施 歯科検診を行う 未実施</p>	
年間行事	<p>4月 入所式(事業所ごと) 7月 ボッチャ大会(ドリ2、サラエ、ドリ3) 12月 望年会(事業所ごと)</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 福祉サービス第三者評価は受審している。 ② 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行った。 ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施した。 社内研修、精神保健分野の保健センターでの研修の他、地域の研修会に随時参加。 ④ 希望に沿った形で、軽作業、食品の班に分け、作業意欲が向上しモチベーションを上げられるように支援した。 ⑤ 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進めた。 ⑥ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ⑦ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ⑧ 相互の障害の理解のための語る会など実施 ⑨ 分室ドリーム第3の増設 	

令和2（2020）年度事業報告

事業所名	いぶき寮
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助（介護サービス包括型）
所在地	東京都江東区枝川1-8-15-714、904
管理者	田中 篤子
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <p>（1）利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>（2）利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。</p> <p>（3）地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>（1）健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。 ・必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行った。 ・コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用しての会話・アルコール消毒を行った。 <p>（2）利用者の健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状態・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行った。 ・コロナウイルス感染予防のため、各居室で食事を摂るなどした。 <p>（3）入浴、排せつ又は食事等の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行った。 <p>（4）日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援した。 <p>（5）余暇活動等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には、コロナウイルス感染予防を第1に考えた上での利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行った。

	<p>(6) 相談・助言</p> <ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言を行った。 <p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援した。 <p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者と家族間の連絡調整を行った。 <p>(9) 行事</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者のニーズに応じて、外食、旅行、視察・見学会等の行事を実施した。 <p>(10) 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとった。・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとった。 <p>(11) 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・年2回避難訓練を実施した。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度事業報告

丸山ハイツ

事業所名	丸山ハイツ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助
所在地	1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7
管理者	前田 進一
事業の目的	精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。
事業の内容	<p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活のリズムの調整。 ② 洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導。 ③ 炊事や栄養面での助言。 ④ 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 ⑤ 各居室のそうじ、整理整頓の指導。 ⑥ ゴミ出しやトイレ、浴室のそうじなど、当番の声掛け。 ⑦ 金銭管理の指導。 ⑧ 共有スペースなどの利用ルールの順守。 <p>日中活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動として利用している関係機関との連携。 ② まだ日中活動の場を持たないひとには、通所施設の紹介、見学同行。 <p>相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン。 ② 状態悪化時や、不安時の相談。 ③ GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。 ④ 利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。 ⑤ 夜間などの電話相談。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕食の提供（月から金）。 ② 必要に応じて、通院の介助。 ③ 障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。

健康管理	年1回の健康診断を実施する（保健所で実施）。 顧問医との面談を定期的実施する。
年間行事	<p>4月 入所式（ゆめグループ）</p> <p>11月 顧問医懇談会（東砂ハウス）</p> <p>12月 望年会（ゆめグループ）</p> <p>2月 顧問医懇談会（丸山ハイツ）</p> <p>※新型コロナの流行により、例年実施していた行事はほとんど出来なかった。</p>
その他	<p>① 個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など</p> <p>③ 寮費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。</p> <p>④ 毎月寮会議を実施し、利用者同士の交流や行事の企画などを行なう。</p> <p>⑤ 防災訓練を実施。</p> <p>⑥ 新任職員の研修に力を入れる。</p>
課題	<p>① 各部屋の空き期間をできるだけ減らす。</p> <p>② 発達障害、知的障害との重複障害の対応。</p> <p>③ 日中活動の利用が本人の目標通り進んでいない。</p> <p>④ 資格を持った職員の確保。</p>

令和2年度事業報告

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 定員4名 : 男性3名 女性1名
所在地	江東区東砂8-19-7
管理者	中村 幸江
職員体制	世話人 遠藤 亜希子 賄い 景山 伊津子 (月水金) 賄い 香取 友美 (火木+世話人休みの日の配膳)
事業の目的	基本方針 障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。 運営方針 (1) 入居者の自主性を尊重し、個人の尊厳、プライバシーを守る。 (2) 入居者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう入居者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。 (3) 地域社会との交流を深め、関連する障害者団体との連携をはかる。
事業内容	(1) 寮費 90,000円 (内訳) 家賃 50,000円 食費 25,000円 光熱費 7,000円 消耗品 1,000円 行事費 2,000円 旅行積立 5,000円 (2) 健康管理の援助 ・入居者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した。 ・必要がある場合は、医療機関への通院支援、服薬管理、塗り薬等の支援をした。 ・感染予防のため、手拭き用ペーパータオルを用意した。 風呂マット、手拭きタオルを個別に分けた。

- ・週1回、居室、共同スペースを全員で清掃した。
必要な方への洗濯、寝具等の大物洗濯を支援した。
- (2) 健康に配慮した食事の提供
 - ・入居者の身体の状態・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供した。(平日：朝食(賄い)、夕食(ドリーム第2の配食)
土日祝日：夕食(弁当)
GW、夏休み、年末年始の長期の休み中は夕食を提供した。
- (3) 入浴、排せつ又は食事等の介助
 - ・入居者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介助を行った。
- (4) 日中活動援助
 - ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、入居者の活動を支援した。
- (5) 余暇活動等の支援
 - ・休日や余暇時間には入居者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援した。
- (6) 相談・助言
 - ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応し、相談の場を設け助言する。
- (7) 金銭管理の援助
 - ・必要な方の金銭管理を行った。
- (8) 家族との交流
 - ・入居者と家族間の連絡調整を行った。
- (9) 行事
 - ・年間計画を立てたが、コロナの影響で、誕生会・食事会(寮内)、外(公園、河川敷)での食事等にとどまった。
 - ・休日、希望者には散歩等、外へ出かけるよう支援した。
- (10) 緊急時の対応
 - ・入居者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や通院同行をした。
- (11) 防災関連
 - ・避難袋・用具の点検・見直しを行った。
- (12) その他
 - ・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行った。
 - ・コロナの影響で、各自室内で食事を摂っていただくことが度々あった。(自室まで配膳、片付けを支援した)

生活寮ひだまり第2 令和2年度事業実績

事業所名	生活寮ひだまり第2
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	江東区大島3-25-5
利用定員	5名(在籍5名)
職員	3名(常勤)
管理者	柳 春夫
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>障がいのある人々が地域で自立した生活を送ることが出来るよう生活の場を確保・提供する。</p> <p>提供された生活の場を活用し自立と社会参加に積極的に取り組めるよう支援する。</p> <p>可能な限り個々のニーズにじた支援を適切かつ安全に行う。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 利用者の身体及び精神の状況とその環境に応じて、日常生活に必要な援助を適切かつ効果的に行う。介助等支援にあたって安全・安心第一にこころがける。</p> <p>(3) 地域社会との交流に努めるとともに、関連する障がい者団体との連携をはかる。</p>
事業内容 と 課題	<p>(1) 日常生活を円滑に送るための支援</p> <p>利用者のニーズに応じて食事・排泄・入浴など必要な介助・支援を行う。特に生活全面の介助が必要な重度者の介助・支援は安全の確保に留意し入浴介助は2名で実施した。</p> <p>(2) 健康管理の支援</p> <p>今年度はコロナ禍での一年だった。手指の消毒、マスクの着用、三密を避けた生活だった。マスク、消毒液の提供は大いに助かった。また、都、区の特別補助金を活用して8月に職員3名のPCR検査を実施、2月には職員3名、利用者2名のPCR検査を実施した。令和2年度で感染は防げている。こうした取り組みは今後も重要になると思う。</p> <p>障害の重い利用者は昨年度同様訪問看護を受けて主に排便に改善が見られている。昨年度から入院し手術を受けた利用者も回復退院し作業所に通所して。別の利用者が蜂窩織炎で2回入院したこともあった。</p> <p>上記のように日常の健康管理は非常に重要と思う。特に70歳近い高齢者の2名には特に配慮が必要と思う。ご家族、成年後見人さんとも協力して取り組みを強めたい。</p> <p>(3) 食事の提供</p>

平日の夕食はドリーム第2の給食を利用している。しかしコロナ禍で中止になることもあった。(お弁当の購入で対処) 朝食は泊まり明けの職員が「簡単」に作っている。休日の食事は各人がコンビニ等で購入している。栄養等の課題は残されている。

(4) 日中活動の支援

一般企業に就職できた利用者の通勤にあたっての「身だしなみ」の援助をしている。ゆめグループ以外の事業所を利用している方については日中活動事業所と必要な連絡を取っているが、充分とは言えない。

(5) 金銭管理の支援

金銭管理ができない利用者については保護者・成年後見人の依頼を受け月毎に一定額を預かり、決まった金額を手渡すようにしている。月毎に記録し保護者・成年後見人に報告している。

(6) 行事・誕生会

コロナ禍で法人全体の行事(入所式、ゆめまつり、望年会など)は軒並み中止になった。当生活寮の誕生会は小規模に実施している。

(7) 職員体制を保障するための工夫

3名の常勤体制で24時間「在勤」を実施している。江東区の運営助成金では人件費を賄うことは出来ない。そこで不足分は利用者Tさんの介護保険(要介護5)のヘルパー派遣(身体介護)にひだまり2職員を登録してヘルパー報酬を受けている。同様に障害福祉の重度訪問介護も活用している。

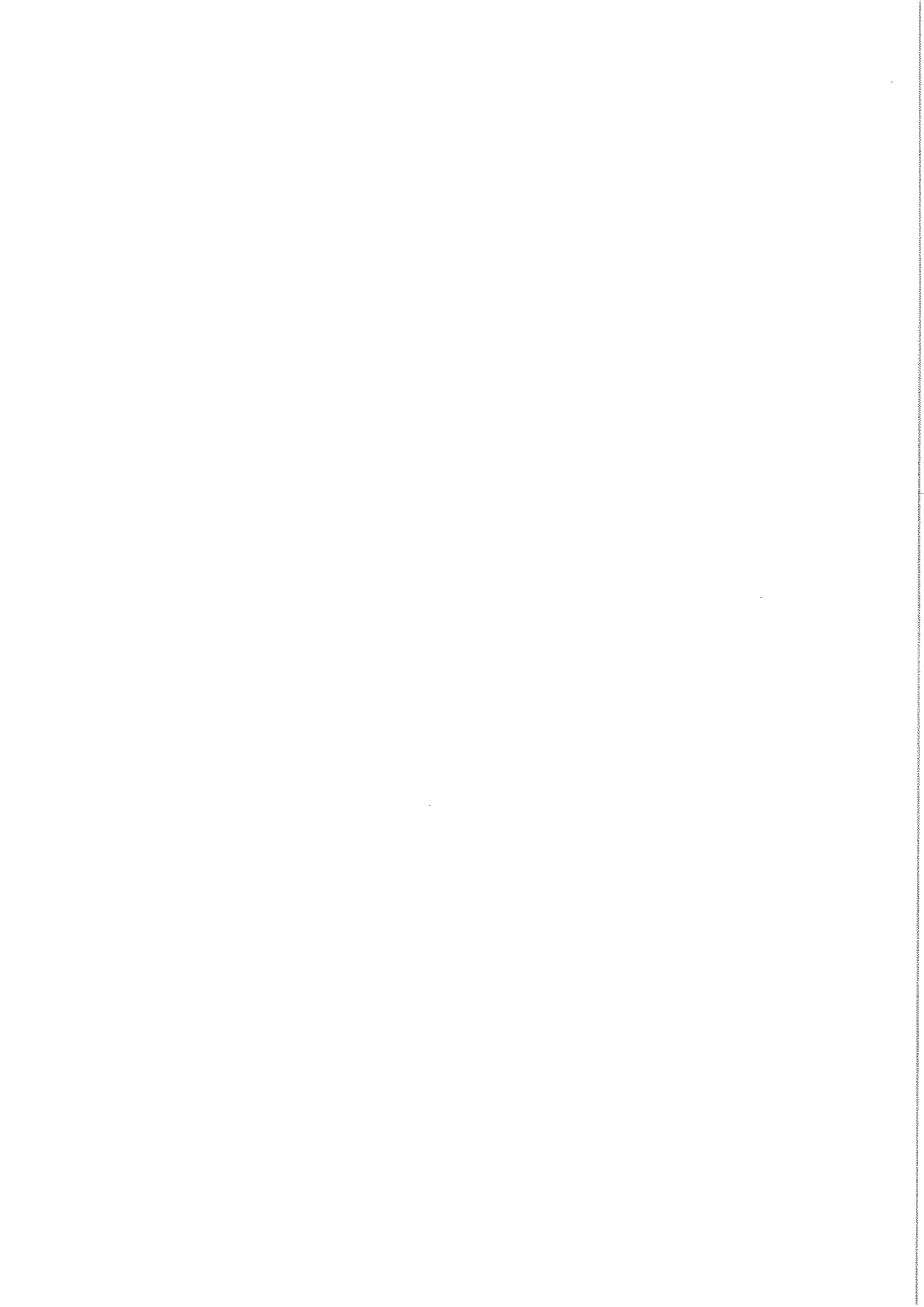
(8) 総合支援法事業への移行について

法人として車椅子に対応できるグループホームの設置は重点的な課題に位置付けられている。現在の施設・敷地での改築、法内施設への移行はできないので、新たな事業所の開設と併せた形で検討されている。R2年度も対象物件の動きはなく具体的な進展はなかった。江東区からは毎年「移行」についての調査があるが「移行の意思はあるが計画は進展していない」とのこと、「資金確保は非常に大変なので区の支援をお願いしたい」と回答した。

2020年度事業報告

ひだまり第3、ひだまり第4

事業所名	主たる事業所 従たる事業所	ひだまり第3 ひだまり第4
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会	
事業の種類・定員	共同生活援助(外部サービス利用型) 2021年3月31日現在 ひだまり第3 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 兼任1名 パート職員(朝食まかない)1名 12月より 知:3名 身:1名 身知:1名 平均年齢 61.4歳 ひだまり第4 定員:5名(現員男性5名) 常勤1名 パート1名 知:5名 平均年齢 35.4歳	
所在地	ひだまり第3:江東区大島3-25-5 ひだまり第4:江東区東砂3-7-11	
管理者	田中 直樹	サービス管理責任者 藤森 幹朗
事業の目的	障がいのある人たちが、地域で自立した生活ができるよう生活の場のと支援の体制を確保する。自立した生活と社会参加を実現できるよう、個々のニーズに応じた支援を提供する。	
運営方針	①利用者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る。 ②利用者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を送れるよう配慮し支援する。 ③心身の健康管理に留意する。 ④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用する。(必要な手続きを進める)	
事業の内容	ひだまり第3 ①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・朝食は世話人が前日に準備したり、買い物出来る利用者にはお金を渡して補っていたが、年度途中より、朝食まかないのパート職員を採用。 平日月・火・木・金 6:30~9:00の間をサポートしている。 夕食についてはグループ内の作業所より夕食を注文している。 年齢的に摂食量が減った利用者には分量を配慮して注文したりしている。土曜日、日曜日の昼食は希望に応じて配食サービスから頼むことが可能。従来は夕食は食堂(1F交流室)で全員揃って取るようにしていたが、令和2年度は感染予防のため、各自各居室で食べるようにしている。 ②健康管理に配慮する。 ・健康診断は職員を含め必要な者が受診している。 ・高齢化もあって通院する利用者が増えている。通院には移動支援(区事業)が原則利用できないが、臨機応変に対応している。 また、介護サービス利用を開始した利用者があり、週2日デイサービス利用、リハビリ・入浴中心で通所している。 ・入院治療が必要な疾患を抱えている利用者もいるので、速やかに入院治療できるように、日中活動管理者、ヘルパー、世話人と連携をとって対応している。 ③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴については感染防止対策から、夕方に集中しないよう配慮した。休日(シフト休の利用者もいる)などを利用しながら、朝や日中の時間などを有効利用して浴室を使用。 ・利用者の洗濯物をすべて世話人が洗濯機で洗濯していたが、2Fベランダにも洗濯機を設置し、自分で洗濯が出来るよう支援している。 ・感染症予防対策で日中活動の自粛や制限でベッド手すりの設置、玄関手すり設置、網戸の張替、居室で食事が食べやすいような、配置換えなどを利用者と一緒に協力して行った。 ④余暇活動の支援 新型コロナウイルス感染症対策で、外食での誕生会、日帰り温泉、日帰り旅行など恒例になっていた外出行事はすべて取りやめることになった。 休みの日も居室で快適な生活を送れるように、個別に利用者支援を行っている。ケーブルTVの契約、システムキッチンの改修工事三蜜対策を施した誕生会を実施した。 ⑤金銭管理の援助 ・買い物等の支援を行った。 ・日中活動管理者と協力して一部金銭管理。成年後見人・家族の依頼で一部金銭管理。 ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する 日中活動管理者、職員、相談支援事業所職員と連携を取り、 ⑦家族と交流 できなかった。 ⑧利用者の入退所 2020年度は無し	
事業の内容	ひだまり第4 2015年10月よりサービス開始 ①利用者の健康に配慮した食事を提供する。 ・料理担当職員(パート)を朝、夜と配置。栄養面を考えた食事を平日のみ提供。 ②健康管理に配慮する。 健康診断は職員を含め必要な者が受診している。 ③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。 ・入浴介助が必要な利用者については男性職員が対応。 ・部屋の掃除が一人では困難な方は職員と一緒にいった。 ④余暇活動の支援 ・コロナ禍により入居者の行動抑制や不安解消の為、職員の勤務をシフトにしてGHに職員がいる時間を増やした。 ⑤金銭管理の援助 ・入居者2名金銭管理。 ・入居者3名一部金銭管理。 ・買い物の支援も行った。 ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ・寮会議の定期的な実施ができなかった。要検討事項。 ⑦家族と交流	
防災訓練	ひだまり第3、第4ともに新型コロナウイルス感染拡大予防の為、避難訓練は行えなわなかった。	
その他	・高齢化が進んでいるひだまり第3の入居者より夜間の職員体制の希望有り。対応を継続して検討。	



(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	練習状況												行事の実績			
		区分	月														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	計	月平均
(施設名) ゆめ工房	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	16	20	22	19	20	17	18	23	237	19.8	<ul style="list-style-type: none"> ・入所式 ・全体会(中止) ・メニュー(中止) ・創作教室 ・宿泊訓練(中止) ・障害者福祉大会(中止) ・ゆめまつり(中止) ・望年会(中止) ・成人還暦祝い(中止) ・障害者作品展 ・なんでもやろう会
		利用者延人員 B	340	289	341	291	222	300	336	286	310	212	256	317	3,500	291.7	
		1日平均利用 人員 B/A	16.2	16.1	15.5	13.9	13.9	15	15.3	15.1	15.5	12.5	14.2	13.8	177	14.8	
		月初日在籍 者数 C	29	29	28	29	29	29	28	28	28	28	28	28	28	341	
(施設名) ゆめ工房北砂	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	16	20	22	19	20	12	18	23	232	19.3	<ul style="list-style-type: none"> ・入所式 (ゆめグループ全体では、事業所ごとで実施) ・望年会 (ゆめグループ各拠点をZoomで繋いで、年末の挨拶のみ)
		利用者延人員 B	409	406	494	494	355	467	504	450	464	278	421	521	5263	438.6	
		1日平均利用 人員 B/A	19.5	22.6	22.5	23.5	22.2	23.4	22.9	23.7	23.2	23.2	23.4	22.7	272.8	22.7	
		月初日在籍 者数 C	25	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	305	25.4	

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービスタイプ)	事業期間	訓練状況												行事の実績		
		区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	計
(施設名) ふれあい工房	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	14	20	22	19	20	17	18	23	235	19.6
		利用者延人員 B	325	312	363	305	214	313	309	272	280	220	228	270	3411	284.3
		1日平均利用 人員 B/A	15.5	17.3	16.5	14.5	15.3	15.7	14	14.3	14	12.9	12.7	11.7	174.4	14.5
(ドリームクラブハウス)	令和2年4月 ～ 令和3年3月	月初日在籍 者数 C	23	23	23	23	23	24	23	23	23	23	23	23	277	23.1
		開所日数 A	21	18	22	18	16	20	22	20	20	20	20	20	240	20
		利用者延人員 B	166	146	185	160	115	144	155	139	132	109	124	137	1712	142.7
(就労継続支援B型)	令和3年3月	1日平均利用 人員 B/A	7.9	8.1	8.4	8.9	7.2	7.2	7	7	6.6	5.5	6.2	6	86	7.2
		月初日在籍 者数 C	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	224	18.7

かかしコンクール
障害者作品展

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービス種別)	事業期間	状況												行事の実績			
		訓練															
		区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	計	月平均
(施設名) ネットワークゆめ工房 (サービス種別) 生活介護	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	16	20	22	19	20	19	18	23	239	19.9	4月 ・3日永山さん入所式 8月 ・7日なんでもやろう 会(調理実習・ゲーム 大会) 9月 ・第23回かかしコンクール 参加(1日～23日) 10月 ・21日加藤さん入所式 (新型コロナウイルスで居宅 支援をしていたので、通所 開始が遅れた為) 12月 ・第12回きよさわかみグズ ザインコンクール(古神さ ん入賞) ・25日クリスマス会(ゲーム 大会)
		利用者延人員 B	204	194	220	207	146	199	217	190	203	197	189	222	2388	199	
		1日平均利用 人員 B/A	9.7	10.8	10	9.9	9.1	10	9.9	12	12	10.2	10.4	10.5	9.7	120.2	
(施設名) ネットワークゆめ工房 (サービス種別) 就労継続支援B型	令和2年4月 ～ 令和3年3月	月初日在籍 者数 C	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12	
		開所日数 A	21	18	22	21	16	20	22	19	20	19	18	23	239	19.9	
		利用者延人員 B	99	87	91	75	64	75	88	77	77	55	66	59	913	76.1	
		1日平均利用 人員 B/A	4.7	4.8	4.1	3.6	4	3.8	4	4.1	3.9	3.7	2.6	46.2	3.9		
		月初日在籍 者数 C	9	9	9	9	9	9	9	9	8	7	6	6	99	8.3	

(参考様式)

事業実績書

(施設名) (サービスタイプ)	事業期間	訓練状況												行事の実績			
		区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	計	月平均
ドリーム第2 就労継続支援B型	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	16	20	23	19	20	19	18	23	240	20	* 暑気払い * 望年会
		利用者延人員 B	584	537	614	553	418	355	388	339	346	169	290	398	4991	415.9	
		1日平均利用人員 B/A	27.8	29.8	27.9	26.3	26.1	17.8	16.9	17.8	17.3	8.9	16.1	17.3	250	20.8	
		月初日在籍者数 C	33	33	32	32	33	23	23	23	22	22	22	22	320	26.7	
ドリーム第2分室 (1)サイクル工房(サラエ)	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	21	18	22	21	16	20	22	19	20	16	18	23	236	19.7	* 暑気払い * 望年会
		利用者延人員 B	223	220	278	181	136	144	187	151	152	80	117	146	2015	167.9	
		1日平均利用人員 B/A	10.6	12.2	12.6	8.6	8.5	7.2	8.5	7.9	7.6	5	6.5	6.3	101.5	8.5	
		月初日在籍者数 C	16	16	15	14	14	14	13	13	13	13	13	13	167	13.9	
ドリーム第2分室 (ドリーム第3)	令和2年4月 ～ 令和3年3月	開所日数 A	0	0	0	0	0	20	22	19	20	16	18	23	138	11.5	* 暑気払い * 望年会
		利用者延人員 B	0	0	0	0	0	191	236	204	217	119	182	245	1394	116.2	
		1日平均利用人員 B/A	0	0	0	0	0	9.6	10.7	10.7	10.9	7.4	10.1	10.7	70.1	5.8	
		月初日在籍者数 C	0	0	0	0	0	10	12	12	12	12	12	82	6.8		

2019年度	ゆめ相談支援センター計画相談支援実施状況												
実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年			合計
件数										1月	2月	3月	
利用支援 (計画書提出)	3	6	1	4	9	6	3	10	1	6	5	7	61
継続支援 (モニタリング)	5	4	2	6	8	2	7	7	5	13	8	9	76
合計	8	10	3	10	17	8	10	17	6	19	13	16	137
2019年度	地域交流支援センターサービス実施状況												
重度訪問介護	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
居宅介護	12	13	12	11	10	11	10	10	10	10	8	11	128
同行支援	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
移動支援	18	28	19	22	21	25	22	26	19	15	24	14	253

